

青い波北陽台

令和元年9月30日 発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 西田 哲也

「個性」

教頭 古賀 巖

この夏、ちょうど台風10号がお盆にかけて日本に上陸した時期、佐世保にある長崎国際大学を会場として「生物学オリンピック2019長崎本選大会」が行われました。予選を受験した全国48,000名あまりの中・高生から、成績上位の80名（女子が約1/3、中学生も3人いました）が集まり、生物の知識や実験の技術を競うとともに、来年行われる世界大会の代表候補選手を選ぶ大会です。予選はペーパーテストですが、本選はほとんど実験です。今回は台風で1日だけの試験となったのですが、本来は2日かけて与えられた課題に取り組んでいきます。私もこの大会に役員として参加させていただき、動物実験の担当をしました（そのほか植物とバイオインフォマティクスの3部門に分かれています）。動物実験だけでも1時間の予備実験と3時間の本実験で構成されています（今回の内容はショウジョウバエの行動観察と突然変異体の表現型に対する実験の構築とその決定でした）。来年は同じ長崎国際大学で7月3日～10日に「国際生物学オリンピック2020長崎大会」、つまり世界約80か国から代表が集まり1週間かけて生物の知識と技術を競う大会が行われるのです。



そんな生物学オリンピックに今回初めて参加させていただき、全国の大学の先生方と知り合うとともに、個性豊かで素晴らしい才能を持った学生に数多く出会うことができました。そしてそこで強く思ったことは、いろんなことは上手にできないかもしれない、周りとのコミュニケーションはちょっと苦手かもしれない、でも自分が得意なこと、自分が好きなことを突き詰めていけば、今回の生物学オリンピックのように活躍できる場があり、またそこに集まってくる同じ個性や趣味を持つ仲間が待っていること、そしてそれを認め、評価してくれ場があるということです。いろんなことが上手にできるのは素晴らしいことです。しかし自分の個性を知り、その道を極めることもまた素晴らしいことです。その極めた先には君たちが知らない世界が必ず広がっています。自分の個性を知りその個性を伸ばす。また他人の個性を知り、それを認める。そんな北陽台生であってほしいと思いますし、そんな個性がこれからの社会で必要とされるのではないのでしょうか。来年、今度は世界の学生と出会えることを私は楽しみにしています。



International
Biology Olympiad
Nagasaki 2020

文化祭 「点P」～どこまでも進み続けよう～

9月1日（日）に文化祭を行い、多くの方が来校しました。今年のテーマ「点P」の下、各クラスで工夫を凝らし、展示や発表、食物バザーなど大盛況のうちに終了いたしました。また、並行して行われた第2回オープンスクールでは中学生や保護者の方々も多く参加していただきました。ありがとうございました。

今回は、四十周年文化祭に続く令和初の文化祭でした。今年はクラスや文化部だけでなく、有志のダンスやバンドもあり、自主性に富んだものとなりました。点Pのように、この自主性が文化祭だけでなく、勉強や部活動に生かしたいと思います。

～文化祭実行委員長 2年6組沼君～



体育大会 「輝け青き若人よ」～令和時代の第一歩～

9月8日（日）、今年の体育大会は素晴らしい晴天の中、テーマ「輝け青き若人よ」のもとで行いました。各種競技では歴代の記録に挑戦し、女子200mでは2年1組の隈元さんが新記録を作りました。また、1、2年生は集団演技や創作ダンスを披露しました。3年生を中心に放課後等各班限られた時間の中でそれぞれ練習を重ねて作り上げた応援合戦も完成度の高い演技を披露しました。総合優勝は2班（青）で、応援合戦は4班（緑）が栄冠を勝ち取りました。

北陽台生全員の熱い思いが令和最初の素晴らしい体育大会を作り上げたと感じています。全員で全力を注ぐ姿は、計り知れないエネルギーを生み出し、北陽台生パワーの大きさを感じました。

～体育大会実行委員長 3年3組岡崎君～



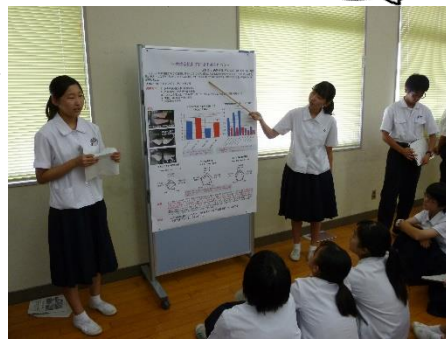
理数科1年生 長崎大学水産学部研修 成果発表会



9月17日(日)の午後、理数科1年生の研修成果発表会を行いました。長崎大学水産学部の先生方にご協力いただき、6月からグループごとに実施した探求活動をポスターにまとめ、各グループの代表者がわかりやすく、研修の成果を発表しました。(以下は発表テーマの一部)

「海苔のうま味アップ酵素：その生物学的存在意義を探る」

「海の酸性化が海洋生物に与える影響の検討」



各学年主任より

「先輩の姿を見て学ぶ」

1学年主任 守 慶直

8月20日の学年集会で、体育大会では、2年後は自分たちが下級生をまとめることになるから、最後に賭ける3年生の姿を見て学んでほしいと話しました。1・2年生に対して楽しくも熱心に指導してくれる3年生の姿は、みなさんの心にどう残りましたか。私は、閉会式の講評の中にもありましたが、最期の校歌斉唱で、ある班の班長の声が特に印象に残りました。短い期間で同級生と協力して下級生をまとめ、当日も含めて精一杯頑張ったという達成感が、校歌を歌う声に表れていたのではないかと、とても感動しました。下級生は、あのような上級生の姿に何かを感じ取ってほしいと思います。

高校生活最後の体育大会を終え、受験に向かって進んでいく3年生にエールを送ると共に、放課後遅くまで残って学習したり、職員室で熱心に質問したりする姿を目に焼き付け、今自分がやるべきことに力を注ぎましょう。

「文化祭・体育大会終了」

2学年主任 林 圭介

文化祭と体育大会という大きな行事が終了しました。文化祭のできはどうでしたか。展示・縁日・食物バザーと各クラスで参加形態は違いましたが、それぞれ良い思い出となり、クラスの団結力も高まったことと思います。3年生は展示その他には参加しないことになっているので、来年はお客様の立場になります。お疲れ様でした。

体育大会は、特に班別活動に多くの時間を割いてきましたが、3年生の立場を考えながら、1年生に手本を示すことができましたか。また、集団演技では君たち2年生が中心となって練習に励んだことと思います。誰かがリーダーシップを発揮して、集団をまとめていくことは、非常に難しいことです。このような活動を通して少しずつでも、実際にどのようなことが必要なのか、どのようにしたら団結力を高めることができるのかを学んでいけたらいいと思います。来年度も頑張ります。

体育大会を終えて

3学年主任 下村かおり

3年生は、『輝け青き若人よ』～令和時代の第一歩～というテーマの下で、「新時代の幕開け」としての体育大会を牽引するという貴重な機会を得ることができました。7月中旬から各班長を中心に準備が始まりましたが、どの班も全ての過程において順風満帆だったわけではなく、幹部と一般生徒との温度差や班内・外の連携がうまくいかずに悩む場面も多々見られました。休日の学校開放時や、放課後には時間いっぱい練習しまくるのかと思いきや、休日練習は最初の頃に2つの班が実施したにとどまり、放課後も早々と練習を終える班もあり、悪天候もあいまって、「準備は本当に順調に進んでいるのか？」と直前まで心配していた人も多かったと思います。しかし、当日の開会式では4人の班長が堂々と選手宣誓を行い、各競技時の様子や入場行進、一番時間を割いて準備した応援合戦でもはつらつと下級生を牽引している姿に3年間の成長が感じられ、とても嬉しくなりました。皆、いい表情をしていました。今後はしっかり切り替えて学習に専念し、希望の進路実現に向けて邁進してほしいと思います。39回生の本領発揮といきましょう。

《部活動の成績》

第42回全国選抜高等学校テニス長崎県大会 男子団体2位 女子団体3位
(男女ともに11月大分県開催の九州大会Aブロック出場)

長崎地区新人体育大会弓道競技 団体女子3位 個人男子2位 大久保旬也

長崎県高等学校新人体育大会

<水泳競技> 女子100m平泳ぎ 3位 八百山蒼

<陸上競技> (以下、4つの種目は10月鹿児島県開催の九州大会出場)

女子4×100mR 1位(佐土原・部原・隈元・三宅) 女子400mH 1位 隈元麻衣

女子100mH 2位 三宅ひかり 3位 部原ひな 女子やり投 2位 平松委穂里

長崎地区高等学校新人野球大会 3位

第66回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール長崎県地方大会

優良賞 田平彩乃

《10月の主な行事予定》

1日(火) 2学期中間試験(1・2年) 学年末試験(3年)、受験用写真撮影、学年集会、評議会専門委員会

2日(水) 答案採点日、生徒自学、センター試験100日前集会(3年)

3日(木) 地域清掃(2年)、秋のレクレーション(3年)

4日(金) 英検1次 5日(土) 土曜自学(3年)

10日(木) 防災避難訓練 12日(土)・13日(日) 校外記述模試(3年)

17日(木) 芸術鑑賞会 19日(土) 土曜自学(3年)

20日(日) オープン模試(3年) 21日(月) 大学の先生による特別講義(2年)

24日(木) 人権教育 26日(土)・27日(日) オープン模試(3年)

31日(木) 主権者教育(1年)